



CONTENTS

- **地域振興**
市長と語るまちづくり懇談会ほか
- **環境衛生**
秋のごみゼロ運動ほか
- **消防団**
秋季非常招集訓練ほか
- **子どもを育む**
コミュニティスクールほか
- **生活安全**
夏の防犯パトロール実施結果ほか
- **健康福祉**
県ふれあい広場・文化祭ほか

コラムかなえ

GMDでは、年長さんから高校生までが一緒にダンスを練習しています。毎週金曜日の夕方から「上山区民センター」で、JAZZ・チャアダンス・HIPHOPなど様々なジャンルのレッスンを行っています。

コロナ流行前は県地区の行事に限らず踊らせていた機会がありました。今年度は県のプロ野球チーム「信濃グランセローズ」の試合前アトラクションと先日参加させていただいたふれあい文化祭のみ。ふれあい文化祭で踊る機会をいただけて、本当に嬉しかったです。

イベントで踊ってくれる人を探している！などあれば是非GMDにお声かけください。新メンバーも募集しております。「初級クラス」もありますので是非一度見学などお越しください。

地域振興

市長と語る まちづくり懇談会



副会長
本島文男

コロナ禍により人的には寂しい懇談会となりました。早く人数制限のない会合が実施できるようになるのを心待ちにしています。少人数ではありましたが、中身の濃い市長との懇談会となりました。急激な少子高齢化が進むなか、自治会の現場を預かる立場からの切実な意見要望が出されました。市の枠を飛び越えた部分もありましたが、飯田市としてできること、まちづくり委員会としてしなければならぬことを整理して、自治会をはじめ各種の役員のなかり手不足に対応していかねばなりません。



新型コロナウイルスで人数制限して開催

公民館より、中学生による地域の事業・行事への積極的参加を促す「鼎中学校ボランティアステーション」について説明と提案がありました。人口が減少する中で、大人と子どもをあいだに位置する中学生・高校生の社会への参画が地域社会の裾野を広げ、地域社会の活性化につながるのではないのでしょうか。さらに、消防団より団員減少に伴う消防団の現状について説明と提案がありました。やはり人口の減少と自治会離れ役員離れがあります。色々出された問題の根底にあるのは、縮小していく社会にあるのではないのでしょうか。まちづくりでも「持続可能な自治会活動」をテーマに挙げていますが、全世代を巻き込んだ無理のない自治組織を構築していかねばなりません。

議会報告意見交換会 自主防災部長 吉川 豊



意見交換を通じて各区の
防災訓練の状況や課題を共有

議会報告・意見交換会は、「開かれた議会運営」「議会への市民参加の推進」を目指して議員が企画し、この会を起点に市民の声を政策づくりに反映することを目的に開催されてきています。今回は、コロナ感染対策のため、参加者を絞り、分科会のみでの意見交換でした。分科会のテーマは、「多発する豪雨災害・30年以内に発生するといわれる大規模地震に対し、地域自主防災体制は対応できるか?」「健康寿命の延伸について」「コロナ収束後を見据え、飯田への人の流れをつくるためには」の三つでした。

私の参加したのは第一分科会で、自主防災体制に関するものでしたので、その一部のみの報告となります。市議会総務委員会が各地区自主防災組織を対象にしたアンケートの結果をもとに話をはじめました。まず、防災訓練は年1回実施している地区がほとんどで、鼎地区も同様ですが、今年度の地震総合防災訓練がコロナの感染拡大を理由に中止になりました。しかし、「安否確認訓練は必要最低限と思い実施した」「役員のみだが、防災備品の確認を行った」など各自自主防災会ではできる範囲での訓練は実施していました。したがって、「コロナだからといって災害は待つてはくれない、中止でいいのか」との声がありました。また、赤十字奉仕団・消防団からは「入ってくる人がおらず、団体の運営や存続が危ぶまれている」との意見が強くあがり、「自分の意見が強くあがり、自分たちだけでは解決できない、まちづくり委員会はもとより、市としても何らかの方策を考えてほしい」との要望がありました。参加者から聞き取った意見が、どのように政策提言につながるか、市議会議員の言動を見守っていくことが重要だと感じました。

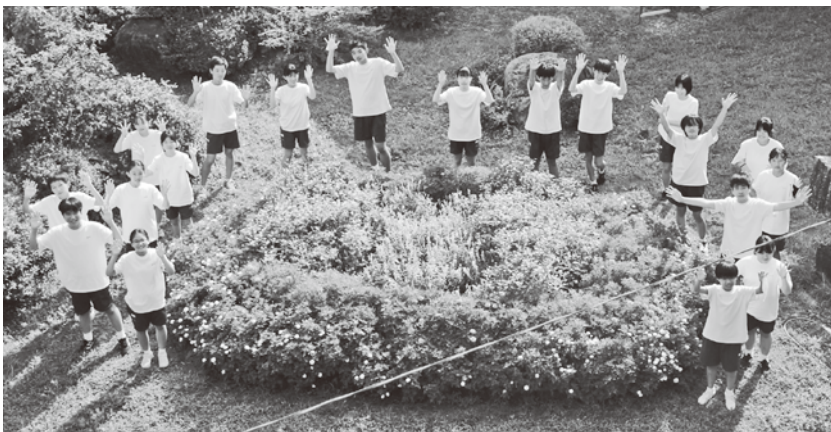
鼎パワーアップ事業 水難救助ボート購入 西鼎区長 関口 明



三六災害の経験からボートを購入整備

私たち西鼎区は、過去に三六災害で水害被害を受けました。集中豪雨による野底川の土石流によって西鼎一丁目の家屋等が被害を受けました。最近、大型台風やゲリラ豪雨が考えられるなか、西鼎は松川を中心に二分された区だけに水難が心配されます。ボートで救出する場面をテレビ等で見かけ購入の要望をしました。今回は実際に水に浮かべての訓練はできず公民館前でボートをつくって感触をえましたが、今後は行事のなかで水面に浮かべて救出訓練を行いたいと考えています。

県パワーアップ事業
鼎中学校中庭花壇整備
 鼎中学校



本校の花壇は、教室や廊下から生徒たちが見ることができ、中庭に位置します。しかし周囲よりも中央部が窪んでいたりと、土が痩せていたりするため花の生育には適さない状況でした。そこで以下の3点をコンセプトに花壇のリニューアルを計画し実行しました。

鼎中学校の緑化委員によって秋の花が咲く中庭花壇にリニューアル

① 緑化委員で校内秋花壇コンテストを実施している。生徒が考えた花壇デザインがそのまま形になるような環境をつくりたい。

② 緑化委員の生徒が「本校は、素敵な花壇があるので、毎年の花づくりを大切にしたい」という思いをもって活動に参加できるようにしていきたい。

③ 多くの生徒が見ることができ、位置に花壇があるので、花のある学校にしていきたい。

コンセプトが決まり取りかかったのは、地域の業者に相談し、ミックスピートおよび腐葉土を入れて土壌を改善することと花壇を囲むレンガの購入でした。パワーアップ事業との連携で、毎年花壇を育てる環境をつくることができました。結果、本年度のフラワーブラボーコンクルの地区選考会で、奨励賞をいただきました。

今後花が咲く学校にしていきたいと思えます。

鼎財産区山作業
 産業経済部長
 中島基雄



10月23日は好天に恵まれて円滑に作業ができました

本年度の山作業は、飯伊森林組合協力のもと、山林愛護会の壮年団40名とまちづくり委員会十数名で鼎財産区の林道の草刈りや間伐を実施しました。間伐材は、来年の道づくりに活用予定です。

東京からのメッセージ
 ふるさと鼎会
 会長 牧野憲治

ふるさと鼎会は、昭和43年秋に、東京在住の鼎地区出身者と鼎地区在住者との和合と協力を目的に発足しました。200人弱の会員の大半は、太平洋戦争終結の前後10年間に生まれています。当時の鼎には子ども達が溢れていました。その多くが、就職や結婚で東京に移り住みました。全てに貧しいけれど、まだ人間関係が濃密だった時代に多感な年頃を過ごしただけに、故郷・鼎への思い入れが人一倍の人達です。鼎地区の情報には極めて深い関心を持っています。何であれ、お知らせいただければ幸いです。私共の会の最大の悩みは、会員の高齢化です。新規の会員の募集を図るうにも、誰が何処にという情報が皆無で、その手立てがありません。皆様のご親戚やご友人等で東京周辺にお住いの方が居られましたら、ご紹介を、是非にお願いします。私共の会の、今後の発展と継続のために、より一層のご協力とご理解をお願いいたします。

市政功労者表彰



左から佐藤市長、まちづくり委員会 前田会長、安田前会長

令和4年度市政功労者表彰は9月30日に執り行われました。鼎自治振興センター3階、現在の鼎図書館の場所にあった郷土の日本画家である片桐白登の絵画を飯田市美術館に寄贈した功績から鼎地区まちづくり委員会が表彰され、前田雄二会長が代表して受賞されました。

また、昨年度までまちづくり委員会の会長を務められた安田完爾さんに感謝状が授与されました。

環境衛生

住みやすい環境を 守りましょう

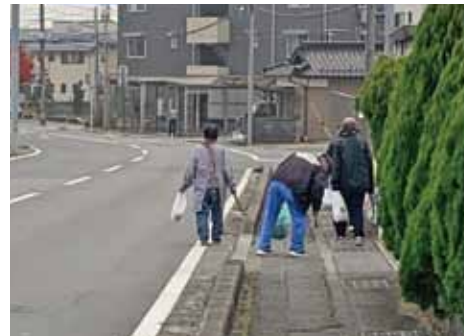
副委員長（西鼎支部長）
前澤 秀 夫

去る11月13日(日)、鼎地区では、秋のごみゼロ運動が行われました。

当日は、多くの方にご参加いただきありがとうございます。西鼎地区では、思い川の清掃も行っており、川に入るのが難しい方にはごみ拾いをしていたいただきました。

今年も春のごみゼロ運動、全市一斉水辺等美化活動、秋のごみゼロ運動を実施しましたが、相変わらずペットボトル・空き缶・空の弁当箱などのポイ捨てが多く、心無い人のルール違反には残念な思いをしています。

最近、世間ではSDGs（持続可能な開発目標）が叫ばれています。17の目標のうち、



秋のごみゼロ運動（ごみ拾い）

ち、目標6は「水・衛生」であり、「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」となっています。私たちも他人ごとではなく、持続可能な社会とするためにできることをしています。今年も残すところわずかなりました。年末年始はごみの搬出量が多くなる時期です。ごみ・リサイクルカレンダー

令和4年度「秋のごみゼロ運動」実施報告										
11月13日(日)に行われた「秋のごみゼロ運動」の実施結果です。										
	人数(人)			空き缶(本)	空きびん(本)	ペットボトル(本)	燃やすごみ(袋または箱)	埋立(袋または箱)	金属資源	その他
	大人	子供	計							
下山	302	7	309	39	2	29	7	23	7	
東 鼎	42	0	42	1	0	0	1	38	1	
西 鼎	61	3	64	0	0	0	0	12	1	
下茶屋	111	15	126	6	6	7	1	5	1	
中 平	247	19	266	40	12	20	3	38	1	
上茶屋	46	2	48	7	0	0	0	2	1	
切 石	412	19	431	24	0	7	0	20	0	
上 山	452	11	463	45	5	31	2	26	1	
一 色	129	12	141	38	3	19	1	6	1	
名古屋	279	9	288	62	8	53	3	26	6	
合計	2,081	97	2,178	262	36	166	18	196	20	
その他	草(軽トラック6台分)、タバコ・鉄くず・紙くず・ビニールが多数、乾電池2個、タイヤのホイール、車のドアミラー、ハサミ、ステンレスの破片、電球2、かさ1、プラ箱1、タイヤ1本、住宅の壁の一部、かさ									
皆様のおかげで多くの場所がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！										



秋のごみゼロ運動(川掃除)

全市一斉 水辺等美化活動と ごみ分別について

中平支部長
折金 恒 男

7月3日(日)、晴天に恵まれ、全市一斉水辺等美化活動が行われました。多くの方に参加いただき、ありがとうございます。

当日、中平区では、水辺等

令和4年度「全市一斉水辺等美化活動」実施報告		
7月3日(日)に行われた「全市一斉水辺等美化活動」の実施結果です。		
地区名	活動内容	参加人数(単位:人)
下山	・河川のゴミ清掃及び除草 ・土砂の除去 ・道路清掃	328
東 鼎	・河川清掃 ・草取り ・ゴミ拾い	72
西 鼎	・堤防のり面草取り ・ゴミ拾い	65
下茶屋	・河川内の砂ざらい、ゴミ等の除去 ・草刈り、コケ取り ・河川の周り(道路)の草刈り、ゴミ拾い	148
中 平	・河川道路の清掃 (ゴミ拾い、除草、河川の砂出し)	260
上茶屋	・草刈り ・河川の清掃	63
切 石	・河川清掃 ・松川河川敷草刈り作業	489
上 山	・河川清掃 (水草刈り、ごみ拾いほか) ・側溝の掃除、泥上げ	530
一 色	・草刈り中心の河川清掃	168
名古屋	・側溝の砂出し ・ゴミ拾い ・除草	326
合計	—	2,449
皆様のおかげで多くの河川がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！		

ごみ分別については、燃やすごみ「燃やすごみ」「プラ資源」「埋立ごみ」を指定日以外に出されており、特に「プラ資



全市一斉水辺等美化活動(中平)

美化活動の一環として、区役員と小学校の先生方と一緒に小学校内を流れる河川の清掃を重機を扱える業者に協力をいただいで、多量の土砂、草、ごみを除去しています。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。校内を横に流れる河川は、土砂が堆積しやすく毎年苦慮しています。さて、今年から環境衛生委員となり、日頃から本地区・他地区の集積所を気になるようになりまして。多くの方々には、ルールを守っていただいているのですが、極一部の方のルール違反のために、集積所管理者(責任者)が大変な思いをしています。当区でも数箇所の集積所で「燃やすごみ」「プラ資源」「埋立ごみ」を指定日以外に出されており、特に「プラ資



秋季非常招集訓練

9月30日(金)午後7時30分
からビラクス松川付近の土
手から発災を想定し、秋季非
常招集訓練を行いました。

非常招集訓練は、実際の火
災を想定し、各班のチームワ
ークや消火活動に必要な水源
の確保が的確かつスムーズに
実際の火災現場でも行えるよ
うにするための訓練になりま
す。

今回の訓練は水源から発災
場所まで距離があり、班同士
が協力し合わなければ消火活
動が不可能な状況を想定して
の訓練内容でした。

コロナ禍でなかなか訓練が
できない状況でしたが今回の
訓練では班同士の連携が上手
くできたのではないかと思います。

このような訓練を通じて安



全かつ迅速な消火活動が有事
の際にはできるようにしてい
きたいと思えます。

今回の訓練に際しまして、
多大なご理解とご協力をいた
だきました中平区長様・鼎ま
ちづくり委員会様・地元中平
地区の皆様・生活安全委員会
様・日赤奉仕団様・伊賀良消
防署様に対しまして、改めて
お礼申し上げます。

切石花火大会警護

10月1日(土)に切石花火警
護を行いました。花火が打ち
あがる前の事前準備として花
火大会会場周辺に水を散水し
て火災対策を行い、花火大会
中は火災が起きていないかの
見回り。また、花火の火種が
林に落ちた際にはその場所に
行き、火災が発生する前に散
水をして火災を未然に防ぐと
いう活動を行いました。

今回の花火大会は火災が起
きずに無事終わりましたが、
来年以降はコロナが落ち着き、
花火大会も増えるのかなと思
われますので、花火大会を観
ている方が安心して観ていら
れるように今後も花火大会の
際には気を引き締めて警護活
動を続けていきます。



かなえふれあい文化祭

11月5日(土)、6日(日)に
鼎ふれあい文化祭で飯田市消
防団第15分団自動車班のポン
プ車の展示を行いました。

小さな子どもたちが普段乗
ることのできないポンプ車に
興味津々といった様子で車輪
に乗り込み運転する素振りを
したり、機材に触れたりして
楽しんでいました。

コロナ禍ということも
あり、訓練の縮小や中止
が相次ぎましたが小さな
子ども達の安全と笑顔を
守れるように、火災が発
生しても迅速な対応がで
きるよう、訓練などに励
んでいきます。



団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員
を募集しております。資格を
とることもできます。(小型
車両系建設機械など)

気になる方はお近くの消防
団員、またはお近くの消防詰
所までお気軽に声をかけてく
ださい。

電話

090-9667-6397

メール

otokam-otomako7891

@yahoo.co.jp





コミュニティスクール
委員長 小澤澄子

コミュニティスクールは、学校と保護者と地域が「協働」して子どもたちを育ていく仕組みで、令和3～5年度を重点検討期間として、県小中学校合同の学校運営協議会で話し合っています。

本年度は「特色ある学校づくり」をテーマに、中長期的な視点から、県中学校は「気づき、考え、実行する生徒」、県小学校は「心豊かでたくましい県の子」を目指しています。県地区は、小学校中学校が同じメンバーであることが強みで、良好な人間関係を活かし、お互いを高め合う方向性を探していきます。漠然として難しいテーマですが、学校から現状を具体的な数値やアンケート結果で提示してもらい、更に深く細かく掘り下



中学生ボランティアの様子

げていきます。

さて、今年度から、県地区の地域活動に中学生が自らの判断で主体的に参加し、地域に貢献できる場面を創出するための仕組みとして、「県地区ボランティアステーション」がスタートしました。生徒と地域をマッチングさせることで、生徒が自主的かつ積極的に貴重な経験をすることができ、生徒からも地域からも有意義だったと好評でした。60年以上もJRC活動がボランティア精神を脈々と支え続けていることは、懐かしく大変誇らしいことです。

コロナウィルス感染症の影響もありますが、この複雑な今の世の中での、コミュニティスクールの大切さを実感します。

東 県
楽しい時間

新型コロナウイルスの変異株が終息のみえない中、子どもたちへかかるプレッシャーは大人の想像を遥かに超えています。そんな中ですが、世代間交流のペタンク大会と居場所づくりで七夕飾り・花火大会を実施しました。

ペタンク大会は県全体が中止で急遽地区の開催へ変更、地区の夏まつりも中止でPTAへ相談したところ、ぜひやりたいと要望がありました。東県は強盗事件で夏休みの朝の体操も何もかも無くなってしまいましたので、何とかしたいと思いい区へ相談し、公民館とも話し合いをしながら実現することができました。ペタンク大会では子どもたちに図書カードを配り、花火大会では明るいうちに短冊に願



事を書いて、飾りつけをした竹に結んでももらいました。暗くなり花火が始まるとお友達や家族単位で丸くなり楽しい時間を過ごすことができました。帰りには、以前中止になったじゃがいも掘り体験用の芋を公民館委員から配られ、みんな喜んで帰りました。

中 平
獅子舞フェスに
寄せて

第15回南信州獅子舞フェスティバルが10月16日朝からの晴天に恵まれ、飯田市中心市街地で昨年より6団体多い20団体が参加し開催されました。中平も参加しました。

中平の獅子舞は獅子の先導として狐とおかめがきます。「おかめ踊り」には4名の女の子が参加してくれました。子供獅子の参加は見送られましたが、男の子7名が親獅子の脇で交代しながら子供獅子の頭を手に親獅子に合わせて頭の舞いを披露しました。子どもたちの獅子への参加

は地域の伝統的行事の継承のうえでも重要なことであるとともに、獅子舞を通じて子どもたちと保護者が楽しく過ごすことができた一日でした。

子どもを育む委員会に携わり、子どもや保護者の意見に接し、獅子舞に限らず、地域の取り組みへの参加はコロナ禍のなか、行動制限はないが保護者としては慎重にならざるを得ない状況です。地域に、子どもたちが体育系・文系にとらわれず、誰もが興味を示すものに参加できる場所が必要と感じました。地域・保護者・学校がともに考え、行政や保護者が働く企業の理解や協力なしには「子どもファースト」の居場所づくりはできません。少しでも居場所づくりができればと考えますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。



9月21日から30日まで『秋の全国交通安全運動』が行われました



運動期間初日の9月21日(水)午前7時より、イオン飯田アップルロード店駐車場で出発式が行われ、南信州地域振興局、飯田警察署、県警交通機動隊飯田分駐隊、飯田市交通指導員、県地区生活安全委員会、市役所鼎会から多くの人が集まりました。警察車両が連なつてアップルロードへ出発した後は、一色東交差点で人波ルート作戦を実施

人波ルート作戦



しました。60名程での活動となり、交差点はカラフルな旗で埋め尽くされていました。朝の出勤ラッシュということもあり多くのドライバーの皆さんへ交通安全を呼びかけることができました。



同日午後3時30分からは、上郷別府交差点にて第2ブロック(上郷・松尾・座光寺・鼎)合同の人波ルート作戦も実施されました。

交通指導所

9月25日(日)午前10時より、切石体育館前交差点にて交通指導所が行われました。参加者は、県地区生活安全委員会のメンバーです。信号機が赤になり止まった車のドライバーに交通安全のお願いを呼びかけ、啓発チラシ等を渡しました。切石体育館前の信号機は、



9月30日(金)に行われた秋季非常招集訓練に参加し、4か所で非常線を張りました。

秋季非常招集訓練

羽場大瀬木線にあり令和2年に飯田市の羽場と大瀬木地区とが開通となり、交通量が増しました。最近ではリニア中央新幹線の開通工事で発生する残土の運搬路にもなっています。このような交通安全を呼びかける運動は今後とも重要と考えます。安全運転に心掛けましょう!



《夏の防犯パトロール各地区実施結果》

Table with 2 columns: 地区 (Area) and パトロールで気づいた点 (Points noticed during patrol). Rows include 下山, 東 鼎, 西 鼎, 下茶屋, 中 平, 上茶屋, 切 石, 上 山, 一 色, and 名古屋.

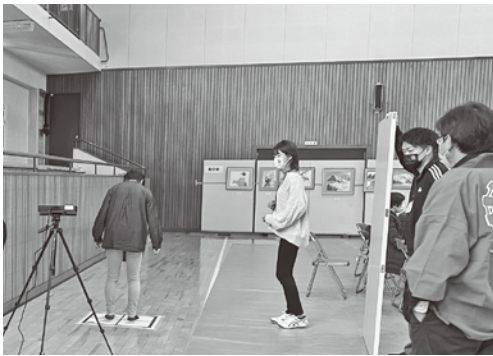
健康福祉

ふるさと県
ふれあい広場・文化祭
総務運営部会長
(中平) 川口 充央

11月5日(土)・6日(日)に、「ふるさと県ふれあい広場・文化祭」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の心配がある中で、以前のよう
に2日間まるまるの日程とはいきませんでした。天候にも恵まれ、素晴らしい文化祭となりました。



フードドライブの様子



保健師による姿勢計測



健康福祉委員会展示ブース

屋台での食品販売は自粛せざるを得ず、青空食堂がないことには、若干寂しさを感じましたが、展示・催事も多くの方が来場され、特に6日の日曜日は、用意していた駐車場も満杯となるなど大盛況でした。

健康福祉委員会で担当したフードドライブも、バザーから衣替えして2年目となり、まだまだ住民の皆様には浸透していない部分は感じながらも、まちづくり委員会ほか、多くの皆様にご協力をいただき、大成功といえる結果を残すことができました。

また昨年に引き続き、多くの中学生にボランティアで参加をいただき、受付等のお手伝いをしていただいたことに

も感謝を申し上げます。

ふるさと県ふれあい広場・文化祭は、鼎地区においては、全ての団体・住民が集う最大の事業です。早く新型コロナウイルス感染症が収まり、何も心配なく楽しめる時期がくればと思います。

健康づくり教室

下茶屋支部長
橋場 昭文

今年度も新型コロナウイルスの終息がつかない中で始まった健康福祉活動です。

下茶屋健康福祉委員会で、7月に健康づくり教室として、歯科衛生士(お口の中の健康)と題して歯科衛生士をお招きしてお話を聞く機会を設けました。

まず、スライドを見ながら歯周病についてお聞きしました。歯周病とは、細菌の感染によって炎症を起こしてしまいが、歯茎や歯を支える骨などが溶けてしまう病気ということで、参加された方は「ほおー」と改めて納得している様子でした。その後、予防について歯磨きの手ほどきを受けました。歯ブラシは鉛筆を持ち

つようにして軽く握って磨くと教えていただきました。参加された方は「他で聞いているけども、なかなかできない」とおっしゃっていました。最後に、磨き残しの歯垢除去方法をお聞きしました。フロスの活用、できない方は、糸ようじなどを使うのが有効ということでした。

当日はマスク着用・入り口での手指の消毒・体温検査などの対策を行いました。



健康づくり教室の様子

フードドライブにご協力ください

- 受付場所 鼎自治振興センターいつでもお預かりしています!
- 受付時間 平日8時30分〜17時15分
- お預かりできるもの

お米(3年度産)・乾麺・レトルト食品・缶詰・お菓子・飲み物・調味料など

※常温で保存でき、賞味期限が1か月以上あるもの
※未開封で包装や外装が破損していないもの

